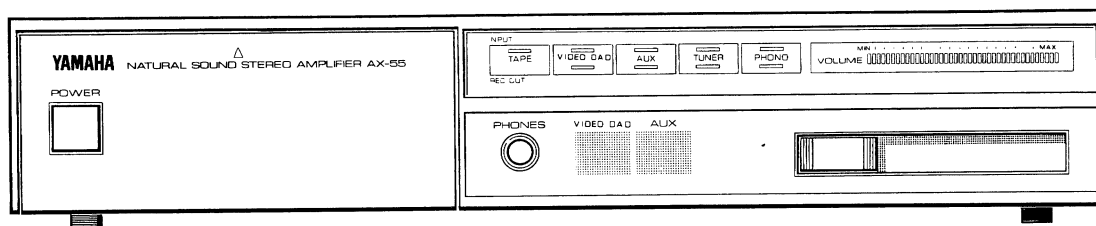




NATURAL SOUND  
STEREO PRE-MAIN AMPLIFIER

# AX-55

## 取扱説明書・保証書



### <特長>

#### ■余裕ある出力と回路構成

- 定格出力38W+38W(EIA-J)の高出力で、音質重視の設計。
- 入力ソースに関係なく録音ソースが選べるダブルアクション機能を内蔵。
- テレビやビデオなど新しいプログラムソースに対応した充実設計。
- ヤマハ方式精密トーンコントロール回路内蔵。

#### ■操作性に優れた設計

- トータルコンポーネントシステムとしての操作性から生まれた、オートファンクションシステムを採用。
- 専用電源コネクター及び信号コネクターにより、今までのわずらわしい接続コードの引き回しを解消。

#### ■新感覚のデザイン

- フェザータッチ式スイッチとシーリングパネルによる優美でシンプルなパネルフェイス。
- スペースファクターに優れたコンパクト設計。

ご使用前に必ずお読みください。

本書には、保証書が添付されていますので、所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

このたびは、ヤマハ・ステレオアンプAX-55をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

AX-55の優れた性能を十分に発揮させるとともに、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

## ご使用になる前に次のことにご注意ください。



### 設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質が悪化したり故障などの原因になります。

- 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど高温になる場所（周囲温度40℃以上）、または温度の特に低い場所（周囲温度-5℃以下）では製品の機能を維持できない場合がありますのでさけてください。
- 湿度の高い場所（湿度90%以上）では金属部品にサビを生じることがあります。
- ホコリの多い場所や磁気の強い場所（テレビやモーターの近く）では、スイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になります。
- その他、振動の多い場所もさけてください。また、結露が発生した場合は、一時的に正常動作しないことがあります。



### セットのお手入れには

セットをベンジン、シンナー系の液体でふいたり、化学ぞうきんを使ったり、近くでスプレータイプの殺虫剤を散布することはさけてください。

お手入れは、必ず柔らかい布でからぶきしてください。



### 取り扱いはていねいに

スイッチやツマミ、キャビネットなどに無理な力を加えないようにしてください。



### 電源電圧はAC100V

定格電圧100Vでご使用ください。また、電源コードは大切に扱ってください。特に、コンセントからはずすときは、必ずプラグを持って抜いてください。

※本機は、AC100V±10V、50/60Hzの範囲でお使いください。

この電圧以外でのご使用は保証できかねます。



### 落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときは、早めにコンセントからプラグをはずしてください。



### 予備電源コンセント

リヤパネルの電源コンセントの容量は、スイッチ連動側は100Wまでで、非連動側は200Wまでです。消費電力を確かめて容量以上の機器は絶対に接続しないでください。



### 水にぬれたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま電源を入れますと、発煙や故障の原因になりますのでご注意ください。



### ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときは、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



### セットの移動

セットを移動する場合は、接続コードのショートや断線を防ぐため必ず電源プラグを抜き、他のセットとの接続コードをはずしてから動かしてください。



### アンプ上面の通風孔をふさがない

放熱を防げないため、アンプ上面の通風孔の上にビニールの敷き物や、レコードなどを置かないでください。



### もう一度調べてください

故障かな?と思ったら、まず「故障と思われるときには」をご覧ください。意外なところで操作を誤っていることがあります。



### 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくことになりますのでご注意ください。

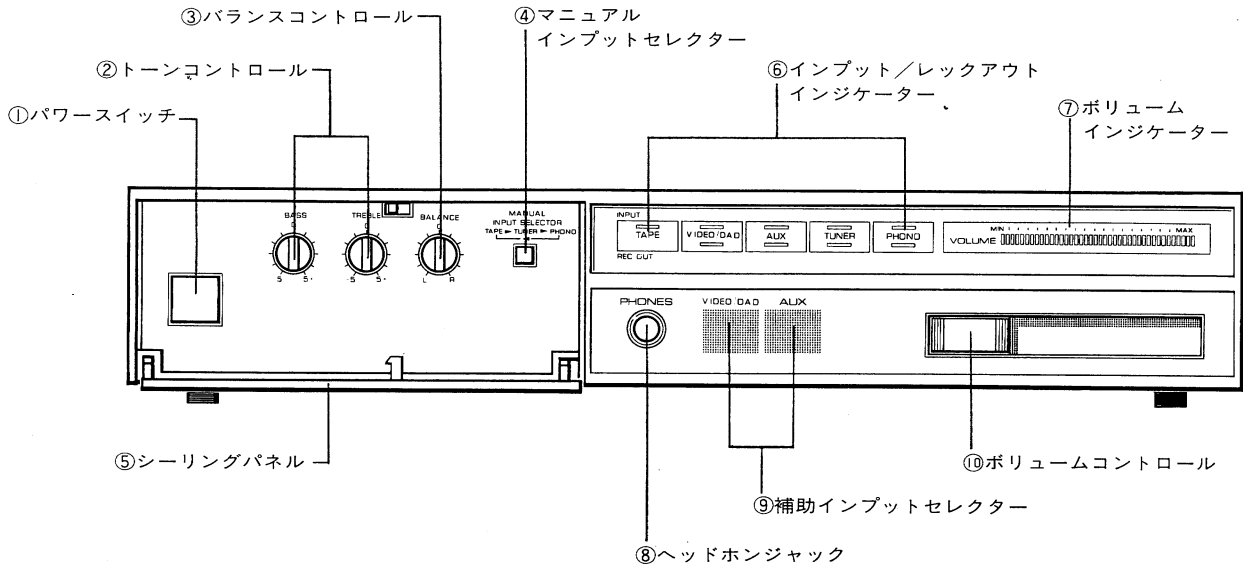


### 保管してください。

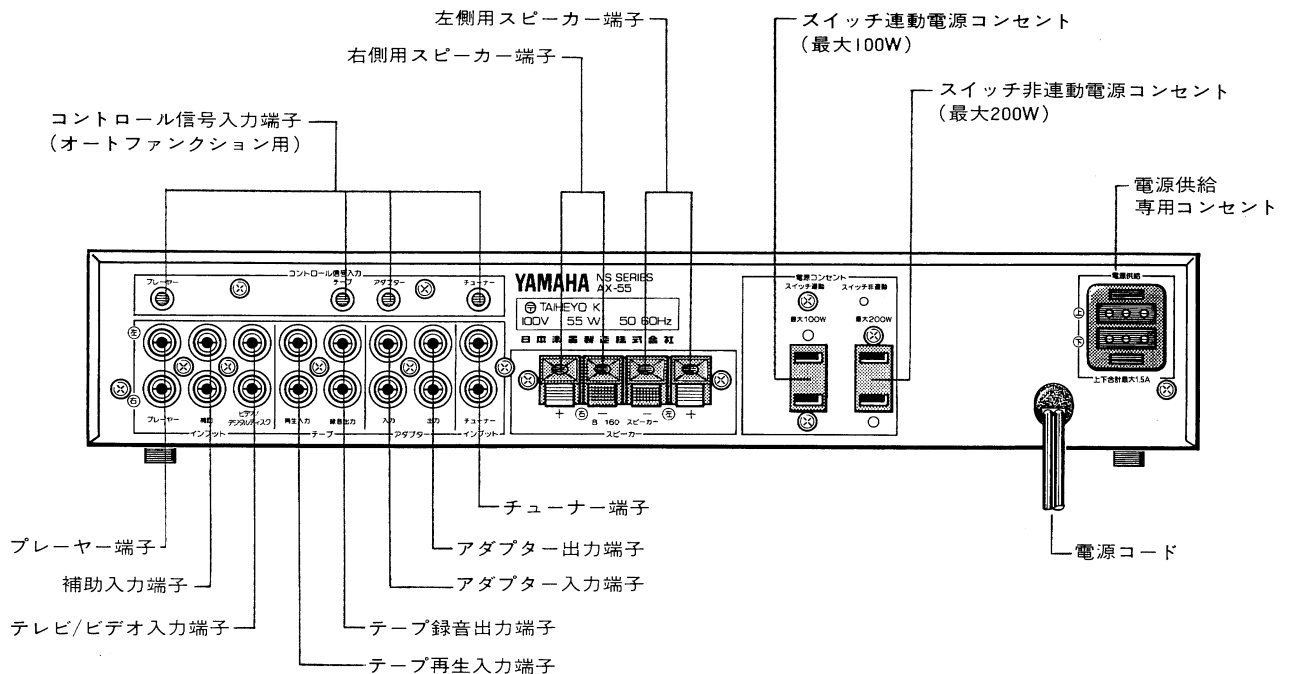
この取扱説明書はお読みになりました後も、保証書とともに大切に保管してください。

# フロントパネル・リヤパネルの名称

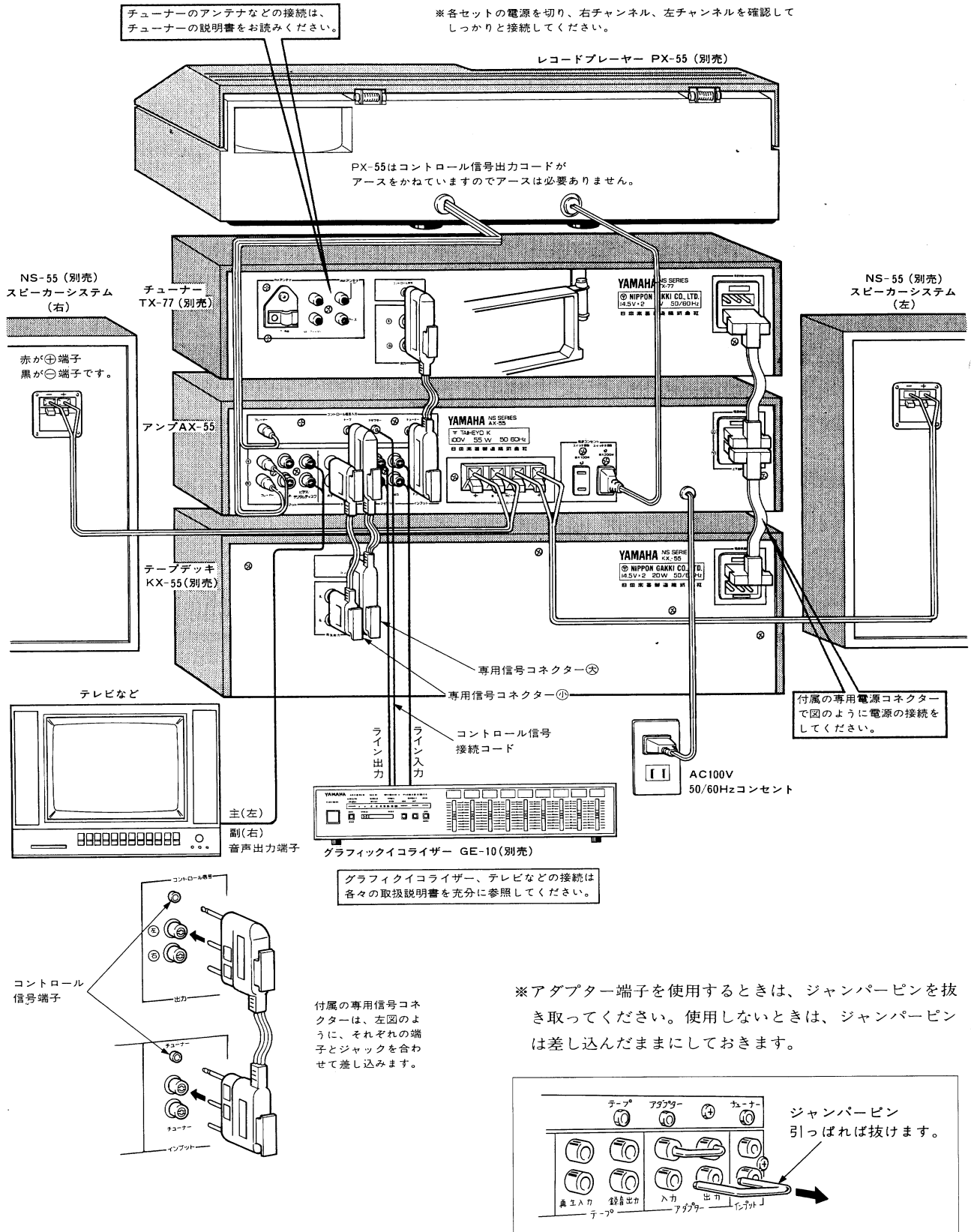
## ■フロントパネル



## ■リヤパネル



# 接続図

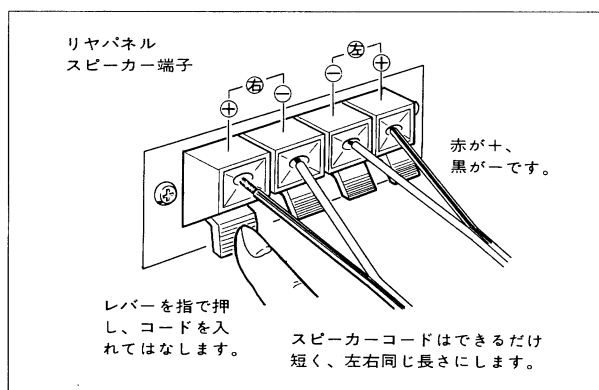


# 接続のしかたと注意

## ■スピーカーシステムの接続

右(左)側のスピーカーコードをアンプのスピーカー端子の④(⑤)に、左右共極性(+、-)を正しく接続してください。極性をまちがえると低音のそこなわれた不自然な再生音になってしまいます。

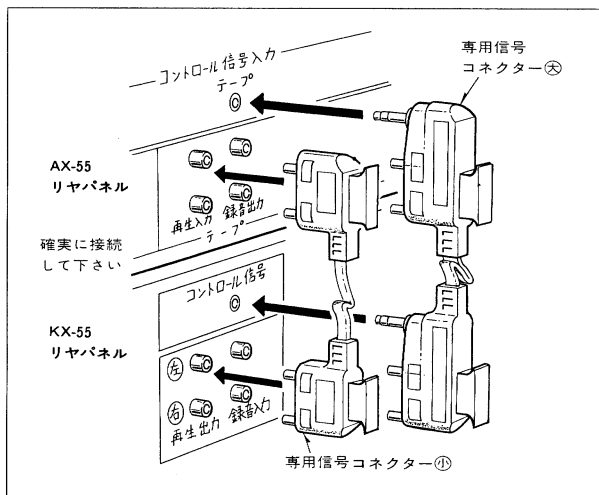
[注]スピーカーはインピーダンスが8~16Ωのものをご使用ください。



## ■テープデッキの接続

④⑤を確認して次の端子間を接続してください。

アンプ { (録音)出力端子 ↔ (録音)入力端子 } テープ  
 { (再生)入力端子 ↔ (再生)出力端子 } デッキ



## ■コントロール信号の接続

プレーヤー、チューナー、テープデッキには、それぞれオートファンクション用の信号出力があります。それぞれのコントロール信号入力出力間を接続し、次の表の操作をしますと、アンプのファンクションは自動的に切り換わりま

	操 作	アンプのファンクション
プレーヤー (PX-55)	• トーンアームをレコード面上に移動する。	PHONO
チューナー (TX-77)	• POWERスイッチをONにする。 • FM、AMを切り換える。 • プリセットチューニング。 • マニュアルチューニング。	TUNER
テープデッキ (KX-55)	• ▷(再生)ボタンを押す。	TAPE

※レコード演奏中、アンプのファンクションを換えるとトーンアームは演奏を中止しアームレストに戻ります。

また、テープ再生中もファンクションを換えると、テープデッキはストップ状態になります。

※チューナーを聞く際、すでに聞きたい放送局になっていた場合は、例えばその放送 (FMあるいはAM) のバンドセクターを再度押すことで、アンプのファンクションはTUNERに換わります。

## ■リヤパネル電源コンセントの使用

- 連動側コンセントには、消費電力100W以下の機器が接続でき、電源スイッチをONにしておくと、本機のパワースイッチと連動させて電源のON、OFFができます。
- 非連動側コンセントは、消費電力200W以下の機器が接続でき、本機のパワースイッチには連動していません。

※プレーヤーやチューナーの接続は、接続図を参照し、④⑤に気をつけて接続してください。また、グラフィックイコライザーやテレビなどの接続は、各々の説明書を十分に参照してください。

### ◎安全機能

電源を入れたとき、スピーカーコードのショートなど何か異常があると、アンプの音量は、音量ボリュームの位置に関係なく自動的に0になります。又、インプットセレクター、レックアウトセレクターも動作しません。その場合には、異状箇所をなおし、一度電源を切ってから再び電源を入れると入ります。

## 各部の機能(2ページ参照)

### ①パワースイッチ(POWER)

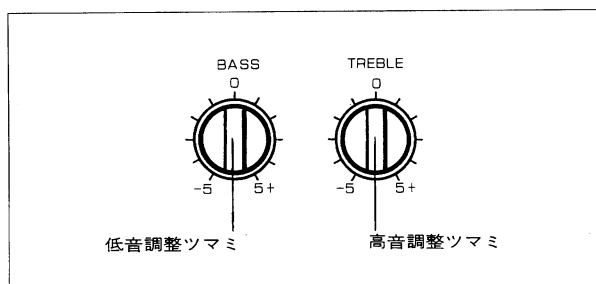
スイッチを押すと電源が入りランプが点灯し、もう一度押すと電源が切れます。

電源を入れると、ファンクションはTUNERにセットされます。

### ②トーンコントロール(BASS, TREBLE)

**BASS**……“0”で特性はフラットになり、右に回すほど低音が強まり、左に回すほど弱くなります。

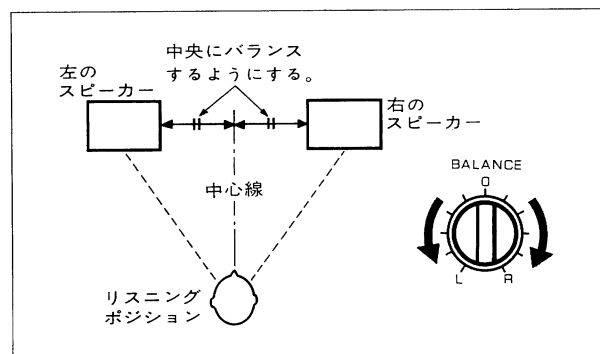
**TREBLE**……“0”で特性がフラットになり、右に回すほど高音が強まり、左に回すほど弱くなります。



### ③バランスコントロール(BALANCE)

左右のスピーカーの音量バランスを調整します。ツマミを右(左)に回すと左(右)の音が小さくなります。

リスニングポジションで左右の音が中央にバランスするようにします。

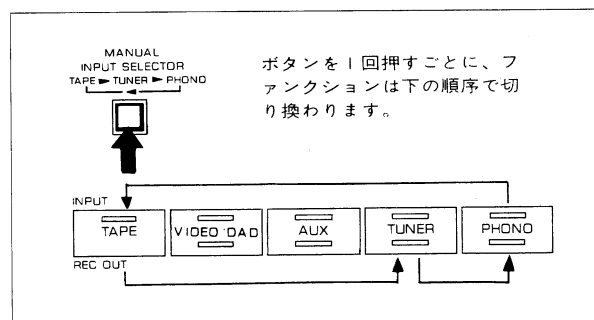


### ④マニュアルインプットセレクター

#### (MANUAL INPUT SELECTOR)

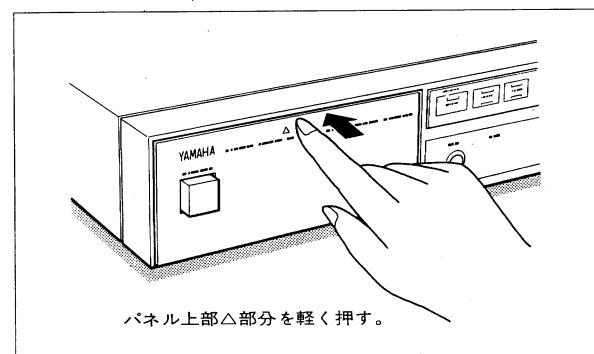
本機にはオートファンクション機能があり、通常はこのセレクターを操作する必要はありませんが、マニュアルで入力ソースを選ぶこともできます。

ボタンを一回押すごとに、TAPE→TUNER→PHONO→TAPE……とファンクションと INPUT/REC OUT インジケータ⑥が切り換わります。お聞きになるプログラムソースに合わせてください。



### ⑤シーリングパネル

シーリングパネルを開めると、通常は必要のないツマミ類が収納でき、すっきりとしたパネルフェイスになります。パネルを開くときは、パネル上部△部分を軽く押します。



### ⑥インプット/レックアウトインジケータ (INPUT/REC OUT)

上のインジケータが入力ソース (INPUT) を示し、下が録音ソース (REC OUT) を示します。

MANUAL INPUT SELECTOR あるいは、チューナーやプレーヤーなどを操作して選ばれた入力ソース (同時に録音ソースも) を示します。(④項及び4ページ参照)

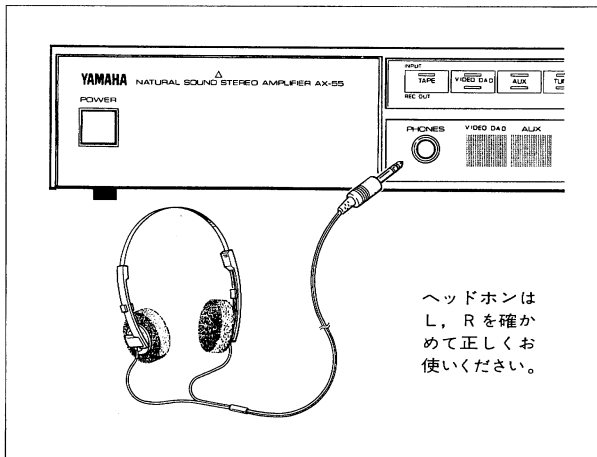
なお、電源を入れたときはTUNERが優先して選ばれます。  
※録音については、テープデッキの取扱説明書を参照。

⑦ボリュームインジケータ- (VOLUME)

ボリュームコントロール⑩と連動して、その音量を表示します。

⑧ヘッドホンジャック (PHONES)

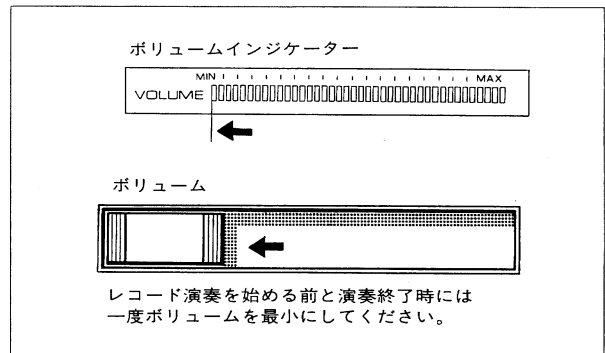
ヘッドホンのプラグを差し込みます。プラグを差し込みますとスピーカーからの音は出ません。



⑩ボリュームコントロール

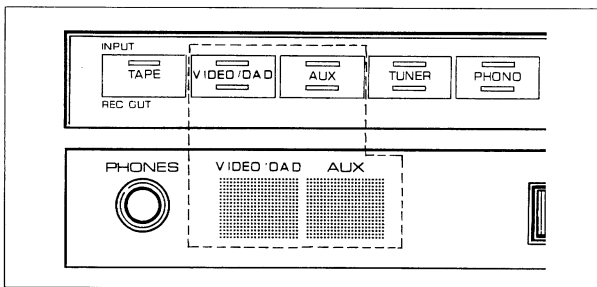
音量を調整します。ツマミを右にスライドするほど音量が大きくなり、上の VOLUME インジケータ-⑦に表示されます。

※POWER スイッチを ON, OFF したり、ファンクションを換えるときは、不用意に大きな音が出ないように必ず音量を最小にしてください。また、レコードに針を降ろすとき、針をあげるときも音量を最小にしてください。



⑨補助インプットセレクタ-

リヤパネルにテレビチューナーやビデオデッキなどが接続できます。それらの入力ソースを聞いたり録音するとき、このセレクタ-で選びます。(セレクタ-に対応した INPUT/REC OUT インジケータ-⑥が点灯します。)



# 演奏のしかた

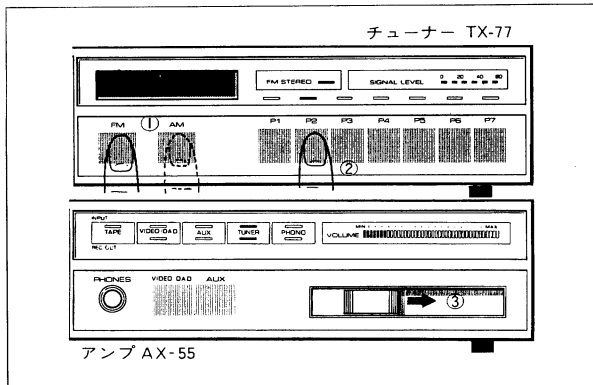
電源を入れる前に接続をもう一度確認しましょう。

- 接続コードの②、④及びスピーカーシステムとアンプの極性 (+、-) は逆になっていませんか。
- 接続コードはしっかり接続されていますか。

また、演奏を始める前は、アンプの音量は最小にしておきましょう。

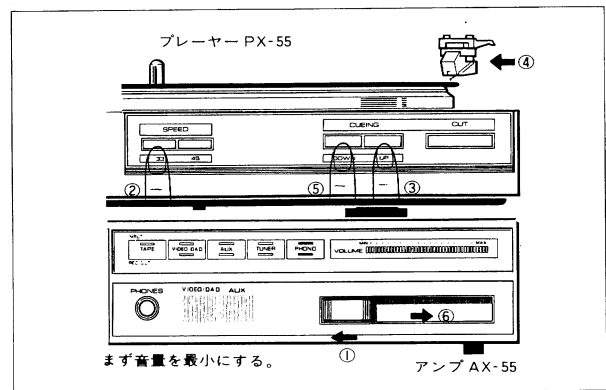
## ■AM/FM放送の受信

1. チューナーの取扱説明書の「チューニングの手順」に従って放送を受信します。
2. アンプで音量や音質を調整します。(BASS, TREBLE)



## ■レコードの演奏

1. レコード演奏を始める前(レコードに針を降ろすとき)と、演奏終了時(針が上がる時)には、一度音量を最小にしてください。
2. プレーヤーの取扱説明書の「演奏のしかた」に従ってレコードの演奏を始めます。
3. アンプで音量や音質を調整します。



※レコード演奏から例えばテープ再生にする場合、デッキの▷(再生)スイッチを操作すると、レコード演奏は自動的に中断され、アンプのファンクションも「TAPE」にかわりますので、ワンタッチでテープ再生にすることができます。(4ページのオートファンクション参照)

## ■テープデッキの再生

1. テープデッキの取扱説明書の「テープ再生のしかた」に従いテープを再生状態にします。
2. アンプで音量、音質を調整します。

◎その他、レコードの録音、エアチェックなどについてはテープデッキの取扱説明書を参照してください。



# 故障と思われるときには／参考仕様

ご使用中なにか異常が認められました場合は、下記の事項をご確認ください。それでも直らない場合は、電源プラグを抜き、お買い上店か最寄りの弊社サービス拠点までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていない。	電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込みなおしてください。
ファンクションを切り換えても再生音が全く出ない。	VOLUMEが絞られている。	VOLUMEをあげてください。
	入力端子のピンプラグが確実に差し込まれていない。	ピンプラグをしっかり差し込みなおしてください。
	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
左右スピーカーあるいは左右いずれかのスピーカーから音が出ない。	アンプとスピーカーの接続が不完全。	接続を確認してください。
	バランスがLかRのどちらかにずれている。	BALANCEつまみを正しく調整してください。
低音のない不自然な再生音で、音像が安定しない。	アンプとスピーカーの位相（+、-）が合っていない。	アンプの位相（+、-）を合わせて接続しなおしてください。
レコード演奏のとき、「ブーン」というハム音が入る。	ピンプラグの接続不良。	ピンプラグをしっかり差し込みなおしてください。
	コントロール信号出力端子がはずれている。	コントロール信号出力端子を正しく接続してください。
ファンクションなどを操作しても動作しない。	スピーカーコードがショートしている。	ショートをなおし、一度電源を切ってから再び電源を入れてください。
レコード再生時、VOLUMEをあげると「ワーン」という音が出る。	レコードプレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定だったりして「ハウリング」をおこしている。	レコードプレーヤーとスピーカーシステムの設置場所を変えてください。（特に部屋のコーナーは避けてください。）

## ■参考仕様

### 定格出力（8Ω）

EIA-J(1kHz THD 5%)	38W+38W
20Hz～20kHz, THD 0.03%	25W+25W
1kHz, THD 0.03%	30W+30W
パワーバンド幅(0.05%, 12.5W/8Ω)	10Hz～40kHz
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω)	60

### 入力感度／入力インピーダンス

PHONO(MM)	1.8mV/47kΩ (MC対応)
AUX, TAPE, TUNER	150mV/50kΩ

### 周波数特性

AUX, TAPE, TUNER	±3.0dB(5Hz～100kHz)
------------------	--------------------

### RIAA偏差

PHONO	±0.5dB(30Hz～15kHz)
-------	--------------------

### 全高調波歪率(20Hz～20kHz)

PHONO→REC OUT	0.02%
AUX, TAPE, TUNER→SP OUT(12.5W/8Ω)	0.025%

### 混変調歪率(定格出力/8Ω)

AUX, TAPE, TUNER	0.02%
------------------	-------

### SN比(IHF A-Network, 入力ショート)

PHONO	82dB
AUX, TAPE, TUNER	100dB

### 入力換算雑音(IHF A-Network)

PHONO	0.222μV
-------	---------

残留ノイズ(IHF A-Network)	195μV
----------------------	-------

### チャンネルセパレーション(1kHz)

PHONO(Vol.-30dB, 5.1kΩ)	80dB
AUX, TAPE(Vol.-30dB, 5.1kΩ)	80dB

### トーンコントロール

BASS(ターンオーバー周波数350Hz)	±10dB(20Hz)
TREBLE(ターンオーバー周波数3.5kHz)	±10dB(20kHz)

電源電圧、電源周波数	AC100V, 50/60Hz
------------	-----------------

消費電力	55W
------	-----

### ACアウトレット

スイッチ連動	100W max
スイッチ非連動	200W max

外形寸法(W×H×D)	340×67×264mm
-------------	--------------

重量	4.6kg
----	-------

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。

# サービスのご依頼について

●サービスのご依頼・お問合せは、お買い上げ店、またはYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお願い致します。

## ■保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## ■保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## ■補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がございましたら、まず本文中の「故障と思われるときには」(8ページ)をお読みになってください。意外と故障でない場合があるものです。

## ■持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

## ■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## ■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

お客様ご相談窓口	
東京電音サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03) 255-2241
東京ステレオサービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03) 255-2241
東京電音サービスステーション	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03) 255-2241
横浜電音サービスステーション	〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL (045) 212-2223
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバークールビルヤマハ新潟センター2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
大阪ステレオサービスステーション	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
大阪電音サービスステーション	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL (0878) 51-7777 (0878)22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL (052) 231-2432
名古屋電音サービスステーション	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL (052) 231-2432
浜松電音サービスステーション	〒430 浜松市東伊場2-14-1 TEL (0534) 56-9211
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
九州電音サービスステーション	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
広島電音サービスステーション	〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3 TEL (082) 874-3787
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
北海道電音サービスステーション	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスセンター	〒980 仙台市大町2丁目2-10 (往來生命仙台青葉通りビル) TEL (0222) 22-6144
仙台電音サービスステーション	〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター内) TEL (0222) 96-0249
お預り品修理拠点	
東京電音サービスデポ	〒171 東京都練馬区高野台2-3-10 TEL (03)904-4901
大阪電音サービスデポ	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
名古屋電音サービスデポ	〒460 名古屋市中区栄1丁目8-7 TEL (052) 231-7896
九州電音サービスデポ	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスデポ	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
仙台電音サービスデポ	〒983 仙台市卸町5丁目-7(卸商共同配送センター内) TEL (0222) 96-0249
本社	
営業技術課電音サービスセンター	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL (0534) 65-1111

## ■日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL(0534)65-1111
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-8/パールビル内 TEL(03)572-3111
銀座支店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL(03)572-3131
横浜支店	〒220 横浜西区南幸2-15-13 TEL(045)311-1201
大阪支店	〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心斎橋プラザビル東館8.9F TEL(06)251-1111
心斎橋支店	〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL(06)211-8331
神戸支店	〒650 神戸市中央区元町通2-188 TEL(078)321-1191
高松支店	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL(0878)51-7777
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL(052)201-5141
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2151
小倉支店	〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL(093)531-4331
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL(011)512-6111
仙台支店	〒980 仙台市大町2丁目2番10号 TEL(0222)22-6141
広島支店	〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F TEL(082)221-4122
浜松支店	〒433 浜松市幸3-5-8 TEL(0534)74-3356
浜松支店	〒430 浜松市鏡治町321-6 TEL(0534)54-4077
海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール・フィリピン

住所及び電話番号は変更になる場合があります。